

令和2年度事業報告

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、招集による総会開催に代え、書面開催した。

- ・令和元年度事業報告について
- ・令和2年度事業計画について

2 岩手県脳卒中予防県民大会 2020

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、大会開催は見送りとし、県ホームページを活用し普及啓発を実施した。

内 容

脳卒中予防に係る基礎知識や各団体が製作した普及啓発資材・動画をまとめたポータルサイトを令和2年12月1日から公開。県民会議会員への周知を通じ、普及啓発を推進した。

『脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却』に向けて

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryuu/kenkou/kenkozukuri/1034696.html>

3 広報・啓発事業

【県と県民会議会員の協働による取組】

- (1) 広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・岩手日報社・県）
 - ・協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌等で脳卒中予防等に関する情報を掲載し、加入している約19,600企業（R3.3月現在）に対し配布
 - ・岩手日報による脳卒中等に関する情報告知

【会員による自主的な取組】

- (1) 岩手県民健康応援キャンペーン2020（岩手日報社）

県民の健康を支援し、健康寿命や平均寿命の延伸を図るため、行政や関係機関団体と協働し、県内の企業が健康づくりを実践できるキャンペーンを展開

- ・期 間：令和2年4月～令和3年3月

(2) いわて元気〇（げんきまる）キャンペーン（テレビ岩手）

「5きげんテレビ」及び「ニュースプラス1いわて」の中で番組コーナーとして「健康増進」や「脳卒中予防」などに関する話題の特集を引き続き放送することに加え、講演会やキャンペーンスポットCMの放送など、立体的な連動企画を実施

- ・期間：令和2年4月～令和3年3月

(3) いわて健康経営宣言事業（協会けんぽ岩手支部）

- ・期間：令和2年4月～令和3年3月（事業開始：平成27年9月～）
- ・社員の健康管理への積極的な取組により生産性向上につなげ、健全な経営を維持する「健康経営」の推進を目的として、健康経営に取り組む事業所を支援
- ・事業主は、「健康診断の実施」「社員の生活習慣改善を支援」「検査・治療の推奨」「スモールチェンジ活動推奨」の実施を宣言し、従業員と一体となり取組を実施

- ・「いわて健康経営宣言」登録事業所 令和2年度末現在 1,361事業所

- ・「いわて健康経営宣言」の特典及び支援の主な内容

「いわて健康経営宣言」の宣言書の贈呈
企業の健康度がわかる「事業所健康度診断」の贈呈
提携金融機関において借入等の際の金利優遇等
取組が優良な事業所の広報誌、メディアを用いたPR
スポーツクラブにおける入会金等の優待
入浴施設の料金の割引 等

(4) 脳卒中とてんかんを考える会（エーザイ株式会社）

- ・期 日：令和2年4月25日（土）16：00～17：30
- ・会 場：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

【会員以外との後援等による取組】

(1) 健康チャレンジ・こどもチャレンジ2020（盛岡医療生活協同組合）

- ・期 間：令和2年7月～10月のうち30日間

※ こどもチャレンジは、令和2年7月から8月のうち30日間

【県・保健所による取組】

(1) ホームページによる情報提供（岩手県環境保健研究センター）

いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを県民向けに分かりやすく加工し提供

4 食生活改善事業

【県と県民会議会員の協働による取組】

(1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（県・保健所・会員）

毎月28日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、県内スーパー等で減塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所でキャンペーン活動を実施

・活動回数 88回 参加者数 7,444名

【会員による自主的な取組】

(1) 『嚥下調整食マネジメント岩手県ガイドライン』の作成（岩手県栄養士会）

脳卒中予防をはじめとした循環器疾患等、低栄養対策のための『嚥下調整食マネジメント岩手県ガイドライン』を作成し、県内全医療機関、高齢者施設に配布

①「嚥下調整食マネジメント岩手県ガイドライン」1,000部作成

②「嚥下調整食マネジメント岩手県ガイドライン」ハンディシート 2,000枚作成

(2) 食形態分類標準化推進研修会の開催（岩手県栄養士会）

上記ガイドラインの活用と関係者のボトムアップのため、研修会を開催

県内5カ所 参加者429名（関係施設の77.6%参加）

(3) 県民を対象とした健康と食生活に関する相談・食生活診断、栄養指導等の実施（岩手県栄養士会）

県内各地のイベントに併合し、栄養相談、塩分チェック、減塩指導及び栄養クイズ等を通じ、県民に対して食事の大切さや健康づくりに係る普及啓発を実施

・「いわて栄養月間」開催回数1回、参加者10名

※市町村の健康まつり(15会場)が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 県民を対象とした健康と食生活に関する研修会（岩手県栄養士会）

・「なんでも食べよう！健康長寿事業」栄養ワンダー2020 併合 場所：二戸市

・栄養ワンダー2020 場所：盛岡市

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (5) 東日本大震災津波被災者及び地域住民を対象とした低栄養、脳卒中、疾病の重症化予防のための栄養士による健康・食生活のアプローチ（岩手県栄養士会）
食を通じた心と体の健康教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (6) 適塩習慣定着促進事業～突撃シリーズ第2弾～1日食塩摂取調査による減塩ステップアップ事業（岩手県食生活改推進員団体連絡協議会）

朝1番の尿により前日1日分の食塩量を測定できる「減塩モニタ」を活用し、地域住民への突撃訪問による1日食塩摂取量調査を実施（公益財団法人いきいき岩手支援財団「いわて保健福祉基金助成金」を活用）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

【県・保健所による取組】

- (1) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育や調理実習等を実施

・開催回数 60回 参加者数 1,986名

- (2) 外食栄養成分表示店登録事業（県・保健所・盛岡市保健所）

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

・栄養成分表示講習会 78回 参加者数 2,242名

・栄養成分表示店登録数 548店舗（累計）

- (3) 減塩リーダー養成講習（保健所）

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

・開催回数 18回 参加者数 452名

5 健康運動事業

- (1) プラス2000歩実践企画の募集（県）

各ライフステージにおける歩行数の増加に向けた「プラス2000歩実践企画」を広く募集し、提案内容を冊子にまとめ市町村等に配付するとともにホームページ

へ掲載

- ・提案件数 39 件

(2) **健康運動指導者講習会の開催（県）**

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための講習会を開催

- ・開催回数 1回 参加者数 35名

(3) **2020 いわて健康ウォークの開催（県、盛岡市、岩手日報社共催）**

- ・開催日 令和2年10月4日（日）
- ・イベント参加者 約950名

6 禁煙事業

(1) **企業等における受動喫煙防止対策の促進（保健所）**

企業・事業所の訪問等により、受動喫煙防止対策についての啓発を実施

- ・事業所等への啓発実施 65件

(2) **禁煙サポート推進事業（県）**

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙希望者に禁煙補助剤を配布するなどにより禁煙支援

- ・委託先：岩手県予防医学協会 禁煙支援者数 65名

7 その他

(1) **県民主体の健康度アップ支援事業の実施（県）**

企業の健康経営を支援するため、県内企業の従業員を対象とした民間スキルによる歩行数増加を主とした健康づくりへのチャレンジマッチを実施

- ・参加企業数 16企業、参加従業員数 625名

保健所単位での「健康的な食事推進マスター」（管理栄養士、保健師等）の養成及び健康的な食事提供事業者（県内4事業者）を育成

- ・食事推進マスター養成講座 9回開催、123名養成

(2) **健康経営の取組の促進（県）**

健康経営の取組を推進するため、関係団体等と連携し、いわて健康経営事業所認定制度を創設。264事業所を認定。また、「いわて健康経営アワード」を実施。

優良な取組事業所として5事業所を表彰

(3) 県民会議会員の拡充（県）

県民への脳卒中予防及び健康づくりの普及啓発を推進し、各事業や会員の自主的な取組との連携を図るため、より多くの企業や団体等の参加を促進

時点（現在）	参加団体・企業数	備 考
H26. 7. 28	1 0 3	岩手県脳卒中予防県民会議設立時
H27. 3. 31	2 7 9	
H28. 3. 31	3 4 4	
H29. 3. 31	4 3 8	
H30. 3. 31	4 8 5	
H31. 3. 31	5 2 7	
R2. 3. 31	5 4 6	
R3. 3. 31	5 9 6	前年度比 50 会員増

(参加団体・企業数)

団体区分	団体数	備考
経済・産業関係団体	60	商工会議所、商工会、JA、漁協 他
学校・教育関係団体	20	岩手医大、県立大学、小学校長会、中学校長会 他
医療関係団体	59	医療三師会、県看護協会、郡市医師会 他
社会保険事業関係団体	10	協会けんぽ岩手支部、国保連等
保健・福祉関係団体	28	県社会福祉協議会、日赤岩手支部、食改協 他
地域活動団体等	30	岩手弁護士会、調理師会 他
金融・保険業	20	岩手銀行、北日本銀行、東北銀行、労金、アクサ生命 他
不動産業	2	宅地建物取引業協会、土地家屋調査士会
製造業	84	アマタケ、銀河フーズ、両磐酒造、戸田久 他
卸・小売業	64	ジョイス、マルイチ 他
建設業	70	県建設業協会 他
運輸通信業	39	県バス協会、県トラック協会、タクシー会社 他
電気・ガス・石油業	11	電気保安協会岩手事業本部、電気技術振興協会
サービス業	39	生活衛生同業組合(理容・旅館ホテル) 他
マスコミ関係	19	新聞社、テレビ局等
国・行政関係	41	岩手労働局、市長会、町村会、岩手県、市町村 他
計	596	

(R3. 3. 31 現在)

令和3年度事業計画

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、招集による総会開催に代え、書面開催とする。

内 容

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和3年度事業計画（案）について

2 岩手県脳卒中予防県民大会 2021

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、大会開催は見送りとし、今年から新たに始まる「脳卒中月間」（令和3年10月）などに、県ホームページを活用した普及啓発等を実施する。

内 容

- ・脳卒中予防に係る基礎知識や各団体が製作した普及啓発資材・動画をまとめたポータルサイト（昨年開設）を県民会議会員への周知を通じ、普及啓発を推進
- ・ラジオによる「脳卒中予防十か条」や「いわて減塩・適塩の日」等の周知

3 広報・啓発事業

(1) 県広報媒体による情報発信（県）【継続】

県政番組等を活用した「脳卒中予防」や「脳卒中週間」の周知広報を実施

(2) 会員広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）【継続】

協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防など健康づくりに関する情報を掲載し、加入している事業所等に対し情報発信

(3) 岩手県民健康応援キャンペーン 2021（岩手日報社）【継続】

～健康経営推進と脳卒中予防で健康長寿日本一へ～

社会全体として個人の健康を支え、守る環境の整備が求められることから、岩手日報社では行政や関係機関・団体と協働し、県内企業の健康経営推進と県民の健康づくりを支援するキャンペーンを展開

- ・キャンペーン PR 展開（令和3年5月～令和4年3月）

(4) 共催・後援（県）【継続】

会員等が主催する脳卒中予防、健康づくりに関するイベント、セミナー等の共催・後援

(5) ホームページによる情報発信（県）【継続】

- ・ 県民会議及び会員の活動等についてインターネットで広く情報発信
- ・ いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを提供（岩手県環境保健研究センター）

4 食生活改善事業

(1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（県・保健所・会員）【継続】

毎月28日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、各種広報媒体を活用し、減塩メニューや減塩を実践するための情報を提供

【いわて減塩・適塩の日】

県民一人ひとりが塩分摂取と健康について考え行動する日として、平成27年7月から毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」に設定した。

(2) 減塩リーダー養成講習（保健所）【継続】

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

(3) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）【継続】

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施

(4) 外食栄養成分表示登録店の店舗拡大（保健所）【継続】

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

(5) 適塩習慣定着促進事業～突撃シリーズ第2弾～1日食塩摂取調査による減塩ステップアップ事業（岩手県食生活改推進員団体連絡協議会）【継続】

朝1番の尿により前日1日分の食塩量を測定できる「減塩モニタ」を活用し、地域住民への突撃訪問による1日食塩摂取量調査を実施（公益財団法人いきいき岩手支援財団「いわて保健福祉基金助成金」を活用）

5 健康運動事業

(1) 地域のお宝さがしてプラス 2000 歩マップの募集（県）【新規】

年代問わず誰もが安全に楽しく歩ける地域のウォーキングコースを募集し、県民の歩行数増加と運動習慣定着のための環境を整備

(2) 県民の健康づくりのための各種イベント等の共催・後援（県）【継続】

「いわて健康ウォーク」等の各種健康運動イベント等の共催・後援

6 禁煙事業

(1) 企業等における受動喫煙防止対策の促進（保健所）【継続】

保健所で企業・事業所の訪問等により、受動喫煙防止対策についての啓発を実施

(2) 禁煙サポートの推進（県）【継続】

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙に取り組もうとする希望者に面接等により禁煙継続を支援

7 その他

(1) 県民総参加型健幸度アップ支援事業の実施（県）【新規】

新型コロナウイルス感染症渦においても誰もが手軽に実施できる運動として、県民の歩行数増加に向けた実践事業を実施

県内9保健所単位での「健康的な食事推進マスター」（管理栄養士、保健師等）の養成

(2) 健康経営の取組の促進（県）【継続】

健康経営の取組を推進するため、関係団体等と連携し、いわて健康経営事業所認定制度を普及するとともに、表彰を実施

(3) 県民会議会員の拡充（県・保健所・会員）【継続】

県民への脳卒中予防及び健康づくりの普及啓発を推進し、各事業や会員の自主的な取組との連携を図るため、企業・団体等に対して脳卒中予防県民会議への新規参加の働きかけ

(参加団体・企業数)

設立時（平成26年7月）	103
令和3年3月31日現在	596
令和3年度目標	621